

日程 平成 29 年 10 月 7 日～9 日 (東北南部)吾妻山縦走

10/7 東京駅＝福島駅＝浄土平－吾妻小富士－浄土平－酸ヶ平避難小屋 (泊)

10/8 酸ヶ平避難小屋－東吾妻山－酸ヶ平非難小屋－一切経山－烏帽子山－弥兵衛平避難小屋 (泊)

10/9 弥兵衛平避難小屋－藤十郎－中大巖－西吾妻山－デコ平＝グランデコH＝猪苗代駅＝郡山駅＝東京駅

撮影：小林・小野塚・笠原

001 10/7 足慣らし



← 天気のリcoveryが遅く、1日目はルート変更。昼食の後、

目の前の吾妻小富士へ登る。



002 いざ出発

2日間の夜の飲み物をレストハウスで仕入れ、パッキングして出発。体力・掛け声とも、気合十分。



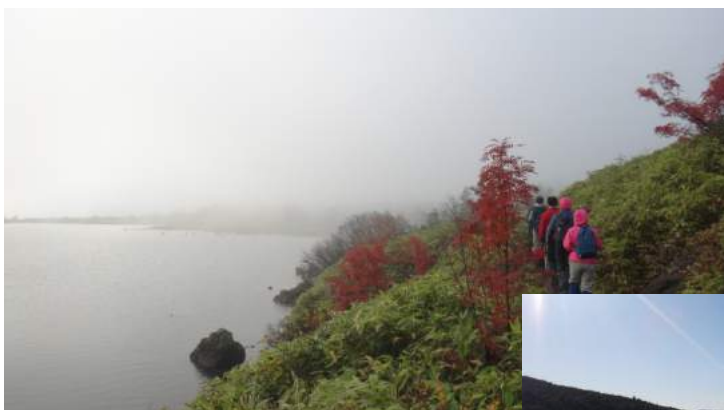
003 紅葉

小雨がぱらつき、ガスで遠くの景色は見られないが、かろうじて紅葉が楽しめる。この1600m辺りはもうすぐ見頃を終える。



004 酸ヶ平避難小屋

今日の宿は明るくきれい、別棟のトイレは手動ながら水洗トイレで快適だ。この小屋は我々だけの貸切りで、ゆっくり出来た。



005 二日目 (10/8) 東吾妻山へ

昨日からコース変更に伴い、まず東吾妻山へピストン。朝もやの鎌沼の横を歩く。帰路、朝霧が取れて鏡のような湖面が見えた。





006 東吾妻山

山頂に着く頃はガスも取れて快晴となった。
真っ青な青い空と目の前の磐梯山が印象的です。



007 一切経山へ

東吾妻山から小屋へ戻り、一切経山へ向かう。なんと、多くのハイカーが入山し、一切経山を目指している。



008 魔女の瞳

なんでこんなに人が多いのか理由がわかった。
一切経山の北側から下に五色沼が見える。魔女の目のように色が変わるエメラルドブルー、グリーンが多くの登山客を魅了している。



009 修行の道

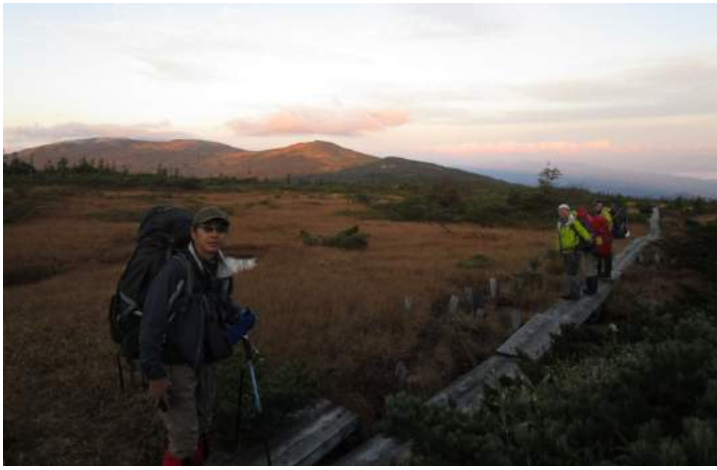
五色沼を回り込むように家形山へ向かい、ここから谷地平分岐まで、泥や道を隠す草木の中を進む。滑らないようにバランスをとりながらの登下降は気力・体力を消耗させる。



010 弥兵衛平避難小屋 (明月荘)

二日目の行程を終え、夕食の支度。我々は2階のフロアを余裕で使っていたが、この後、ツアー山行の17名が入って、あっという間に満員状態。





011 3日目 (10/9) 朝日とともに

小屋を予定より若干早く出発、弥兵衛平を歩く。「たおやかな東北の山」、西吾妻山の稜線が朝日に照らされピンク色に染まる。



012 人形石までの登り

「たおやか」と言っても登りはある。晴れたりガスったりの天気だが、日が射すと熱く、避難小屋泊まり装備を背負っての登りでは、たおやかさは感じない。



013 草紅葉に浸かる

今朝から、湿原地が多く、どっぷりと草紅葉に浸かって歩いた。これは大凹辺りの木道を行く。

014 梵天岩



一昨日から歩いてきて、全体的に大きな岩は少ない。ここまできたら西吾妻山は近い。さあ、もう一踏ん張り！



015 西吾妻山 山頂

百名山の一つ、吾妻山の最高峰、西吾妻山へ上がる。山頂からは木々に覆われて景色は無いが、メンバーの顔に疲労を交えた達成感が伺える。この後も、西大巔への最後の登りと、グランデコまでの滑りやすい悪路が待っていた。

